



## 2025年2月例会レポート

この冬一番の寒気が流れ込み、全国各地は大雪となっています。関東では余寒ながらも青空となった2月9日、東京海洋大学の白鷹館において、午後2時から2月例会が開催されました。参加者は39名です。

### 【高田主宰より】

- ・ YouTubeに「ハイクロペディア」という俳句のチャンネルがあり、自作10句において自句自解と質疑応答を行うビデオ動画が撮影されました。2月末ごろに公開の見込みです。
- ・ 俳句界3月号に「師系について」を寄稿しました。山口青邨、黒田杏子という俳人について、改めて考えてみるよい機会となりました。

### 【事務局 ジョニー平塚さんより】

- ・ 3月23日、24日に青地巡礼第2回が大垣市で行われます。予想以上のスピードで参加申込が来ています。

23日には、高校生東西俳句決戦が行われ、この審査委員長を高田主宰が務められます。我々参加者はこの準決勝戦と決勝戦を観戦・応援する予定です。この俳句大会には、俳句甲子園の昨年の優勝校や準優勝校も参加する予定です。

### 【互選の披講と高得点句の合評】

今月の出句数は120句。ジョニー平塚さんの司会進行で、1人3句選の披講を行い、高得点句(4～6点句の計10句)について合評が行われました。初春の趣がよく表現されている句などが並びました。

### 【主宰選と講評】

後半は、高田主宰選の発表です。今回は、☆が11句、☆☆が8句、☆☆☆が6句でした。☆☆以上の句について、主宰からの丁寧な講評があり、作者からも句の背景などが述べられました。また、すべての参加者の1～2句について、主宰から丁寧にアドバイスがありました。

以下、主宰からのアドバイスをピックアップしてみました。

- ・ 単に報告になっている句もあるので、そうならないかを確認すること
- ・ 三段切れになっていないかを確認すること
- ・ 語順を入れ替えると、よくなることがあるので、ひっくり返してみることも大事
- ・ 動詞の表現を名詞化するとすっきりすることがあるので、検討してみる
- ・ 「出る」と「出づる」など、句のイメージに合う表現を選ぶこと
- ・ 主観に左右され実体のはっきりしない言葉に気を付けること(例、はなやぐ、美しいなど)
- ・ 言葉の組み合わせ方によっては重複感を招くので注意すること

例)「冬晴の空」⇒「冬晴」と「空」

「まつすぐ伸びる」⇒「まつすぐ」と「伸びる」

### 【事務局からの連絡】

- ・ 青麗5月号への投句締切は、2月15日です。お忘れなきよう。
- ・ 次回の例会は、3月9日です。

(作成者：武部一成)

(レイアウト：菅原 有美)